授業科目 NO. 620　看護制度と政策

The Nursing System and Policies

授 業 の 形 態 ：　講義
単位数（時間数）：　1 単位（15 時間）
開講年次・学期：　4 年次・後期
必修・選択の別：　選択
キ ー ワ ー ド ：　医療政策、看護政策、医療計画、地域医療構想、診療報酬、介護報酬

1　金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

① 豊かな人間性と倫理観
② 看護学の知識と技術、及び実践力
③ <u>地域志向を視野に入れた専門性の獲得</u>
④ 生涯学習能力
⑤ 国際的視野の獲得

2　学　習　目　標

1）一般目標（GIO）

看護の実践と医療・看護政策がどのように関係しているかを過去から現在に至る制度等を通して理解する。

2）行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

（1）看護政策が決まる仕組みを述べられる。（③）
（2）看護政策の実際を知り、興味関心のある看護政策ひとつを取り上げ、看護政策の背景・実際・今後の見通しについて調べ、自分の見解をプレゼンテーションすることができる。（③④）
（3）診療報酬と介護報酬の負担割合、軽減施策、請求の仕組み、その他制度との関連、改定の仕組みを述べられる。（③）
（4）診療報酬ならびに介護報酬の背景・実際・今後の見通しについて調べ、自分の見解をプレゼンテーションすることができる。（③④）

3　学　習　内　容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評　　価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
実習成績	%
レポート	50%
授業態度	%
小テスト	%
その他（ディスカッション、プレゼンテーション）	50%
合計	100%

（特記事項）

5 教 育 担 当 者

科目責任者：前田　修子

教　　授　　前田　修子（在宅看護学）

6 教育担当者の実務経験

科目責任者（前田修子）は、医療機関看護師・市町村保健師として、医療・看護政策に基づく看護実践や事業計画立案・実施・評価に関わってきた実務経験を有する。

7 教　　科　　書

特に指定しない

8 推 薦 参 考 書

角田由佳：看護サービスの経済・政策論 第 2 版: 看護師の働き方を経済学から読み解く、医学書院、第 2 版、2020
津川友介：世界一わかりやすい 「医療政策」の教科書、医学書院、2020
田倉 智之：医療の価値と価格: 決定と説明の時代へ、医学書院、2021
見藤 隆子, 石田 昌弘他:看護職者のための政策過程入門 第 2 版–制度を変えると看護が変わる!、日本看護協会出版会、2017
尾形裕也：この国の医療のかたち 医療政策の動向と課題 2025 年のヘルスケアシステム、日本看護協会出版会、2022

9 準備学修に必要な時間又は具体的な学修内容

1）授業 1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 180 分程度必要です。
2）選択科目であり履修者数が少ないことから、ゼミ形式で進めます。

3）課題発表や積極的なディスカッションには、説明準備、ディスカッションのための準備学修が必要です。

4）学生個々の興味関心を中心にゼミを進めますので、自らが看護政策や医療政策について興味関心をもてるように、ニュース記事の中での医療や看護の取り上げ方について確認しておくこと、自分の意見をもつことが準備学修になります。新聞記事、ネットニュース、ニュース番組、討論番組などを視聴・閲覧し、今起こっていること、多様な分野の専門職からの見解を理解しておくことが授業の理解を深めることに役立ちます。日本看護協会のホームページはわかりやすく紹介してありますので、自分の進路希望に合わせて、事後学習に活用すると良いです。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

1）授業態度・プレゼンテーションに関するフィードバックは授業時に行います。

2）レポートは、内容についてコメントし採点結果をお伝えします。

3）レポート課題・ディスカッションは、あらかじめ評価指標をお伝えします。

4）プレゼンテーションについて、教員からのフィードバックはもちろんですが、学生同士のフィードバックも活発にしていきましょう。

11 履修上の注意事項

1）受講者が少ないことが想定されますので、履修者人数によって、授業方法を変更して進める場合があります。

2）医療・看護政策は、看護現場や看護実践に大きな影響をもたらします。また、現場の声を政策づくりに届けることも必要です。この科目で学修する内容は、看護師・保健師・助産師における看護実践・看護教育・看護管理において役立つ内容です。是非、主体的に参加し、授業を学生と教員で創っていきましょう。

3）年度中の医療政策等の動向によって、授業内容を変更する場合があります。

4）4 年生後期の科目のため、受講者の進路や今後の専門性も取り入れながらテーマ設定していきます。

5）本科目は、本学看護学研究科 1 年生科目「地域医療支援論」につながる科目です。

12 オフィスアワー等

学内にいる場合は対応しますので、事前にメールください。（mshuko@kanazawa-med.ac.jp）
研究室は、1 号棟 4 階 404 号室です。

第4学年

看護制度と政策

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	11月04日（火）	3	講義	ガイダンス 医療政策・看護政策の策定とプロセス 看護と政治	レポート（看護と政治活動）10点	在宅看護学	前田教授
後	2	11月07日（金）	2	講義	看護政策の実際	レポート（興味のある看護政策について調べる）20点	在宅看護学	前田教授
後	3	11月11日（火）	3	演習	看護政策の紹介と批判的吟味・提案 プレゼンテーション準備		在宅看護学	前田教授
後	4	11月14日（金）	2	演習	看護政策の紹介と批判的吟味・提案 プレゼンテーション	プレゼンテーション、ディスカッション　20点	在宅看護学	前田教授
後	5	11月18日（火）	3	演習	診療報酬・介護報酬の策定プロセス	レポート（興味のある診療報酬・介護報酬について調べる）20点	在宅看護学	前田教授
後	6	11月21日（金）	2	演習	診療報酬・介護報酬の紹介と批判的吟味・提案　　プレゼンテーション準備		在宅看護学	前田教授
後	7	11月25日（火）	3	演習	診療報酬・介護報酬の紹介と批判的吟味・提案　　プレゼンテーション	プレゼンテーション、ディスカッション　20点	在宅看護学	前田教授
後	8(0.5)	11月28日（金）	2	演習	診療報酬・介護報酬を取り巻く課題・トラブル まとめ	ディスカッション（課題・トラブルに関する感想・意見）　10点	在宅看護学	前田教授